

知っていますか？『胆のう』の病気



どこにあるの？

胆嚢は、肝臓の下に張り付くようにある袋状の臓器です。右の一番下の肋骨のあたりに位置します。長さは、およそ8cm程度の大きさで、洋梨のような形をしています。



何をしている臓器なの？

胆臓で作られた消化液(胆汁)を、一時的に蓄える場所です。蓄えられた胆汁は、主に脂肪の消化を助ける働きがあります。この胆汁は、食事をした時に胆のうが収縮することで、十二指腸に放出され脂肪の消化を助けます。



どんな病気があるの？

良く見られる病気は、胆のうポリープや胆石症があり、他に良性腫瘍や悪性腫瘍などがあります。いずれも無症状な事が多く、健康診断などで偶然見つかる事が多い疾患です。胆のうに出来る悪性腫瘍は、進行するまで無症状の場合が多いです。



胆石症とは？

胆道系(肝内胆管、総胆管、胆嚢)に発生した結石を胆石といい、多くは胆のう内に出来ます。日本人の胆石保有率は約10%と言われ、40~50代の健康な肥満型の女性に多いと言われています。

胆石を持っている人の多くは無症状ですが、石が胆のうの出口に詰まると、胆のう内に胆汁がうっ滞して細菌が急速に増え、強い痛みと発熱を伴う『急性胆のう炎』を引き起こします。悪化すると胆嚢穿孔して胆汁性腹膜炎を起こすことがあります。



胆のうポリープとは？

胆のうの内部へ突出して隆起する病変の総称です。発症年齢は40～50歳代で多く、成人の5～10%が保持していると言われています。

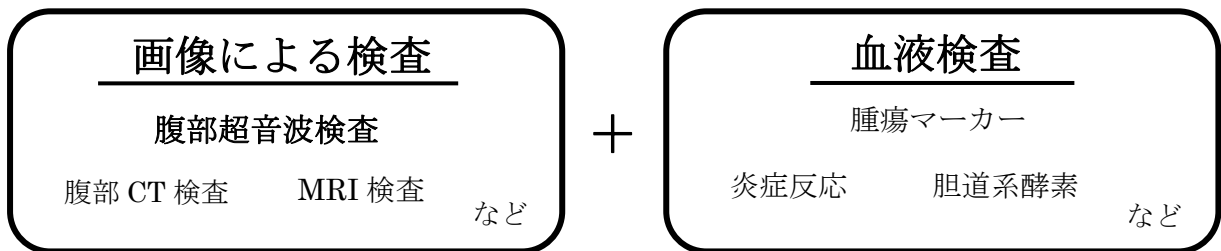
ポリープの多くは、コレステロールポリープと言われる良性のもので、脂肪の多い食生活が関係していると考えられています。

他に、腺腫や過形成ポリープなどの良性腫瘍や悪性腫瘍などがありますが、画像による良性腫瘍と悪性腫瘍の鑑別は困難な事が多く、特に小さいものは鑑別困難です。
急に大きくなったり、サイズが大きいポリープは悪性腫瘍の可能性があります。

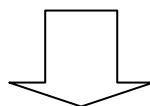


胆のうの検査にはどんな検査があるの？

胆石や胆のうポリープの多くは、腹部超音波検査で見つけることができます。



胆のうに出来る病気は無症状の事が多く、知らないうちに胆のうの病気を持っていることがあります。
検査を受けられたことが無い場合は、一度検査を受けてみてはいかがでしょうか？
もし、胆石症やポリープが指摘されたら、定期的な検査をお勧めいたします。



まず、簡単かつ有用な『超音波検査』を！

体にプローブという器械を当て、検査をしていきます。痛みを伴わず、体に害が無いため、繰り返し検査を行っても体に影響がありません。

また、当院では診察当日に予約なしで検査を行うことが可能です。

※ 胆のうは、お食事の影響をうけやすく、見えにくくなる事があります。

検査当日は、お食事をせずにお越し頂くことをお勧めいたします。

